

## 平成 30 年度教育事業

### 自然体験活動上級指導者（NEALインストラクター）養成事業

#### 1 趣 旨

全国体験活動指導者認定委員会が制定した「自然体験活動指導者養成カリキュラム」に則り、以下の指導者像に掲げる自然体験活動指導者を養成する。

- ① 自然体験活動におけるプログラムを企画・運営・評価する。
- ② 自然体験活動指導者(リーダー)に対して自然体験活動におけるプログラムのねらいを伝え、指導方針の共通理解を図る。
- ③ 自然体験活動におけるプログラムを直接指導する。
- ④ 自然体験活動におけるプログラムの安全管理を行う。

#### 2 日 程

- (1) 期 日 平成 30 年 10 月 6 日 (土) ～ 10 月 8 日 (月) 【2 泊 3 日】
- (2) 参加者 11 名 (青少年教育施設職員 5 名、NPO 等所属 4 名、法人ボランティア 2 名)
- (3) 研修内容及び講師

1 日目 (10/6)	○「アーチェリーを体験しよう」 ○「地域特性の体験活動への活かし方を学ぼう」 ○「自然体験活動の指導方法・指導技術を身に付けよう」 ○「学校教育における体験活動の意義を学ぼう」	講師：交流の家研修指導員 講師：キープ協会 鳥屋尾健氏 講師：金沢大学 松本謙一氏
2 日目 (10/7)	○「自然体験活動プログラムの安全管理について学ぼう」 ○「自然体験活動を企画して運営・評価を学ぼう」 ○「キャンプファイアーを体験して技術を身に付けよう」	講師：大東文化大学 中村正雄氏 講師：文教大学 青山鉄兵氏 講師：etc.works 尾塩苑氏
3 日目 (10/8)	○「対象者への配慮と対応方法を学ぼう」	講師：筑波大学 坂本昭裕氏

#### 3 成果と課題

- (1) アンケートによる事業評価

教育事業アンケートの満足度（「満足」と「やや満足」の評価割合）は、事業全体、事業の運営、職員の指導・助言や対応の 3 項目全てにおいて 100%であった。

【事業全体の満足度】 満足：100%

【事業運営の満足度】 満足：100%

【職員の指導・助言・対応の満足度】 満足：100%

<参加者の記述より>

- 内容が充実していて、講師の方も全て良かった。勉強になった。
- 時間配分もちょうどよく、スムーズに 3 日間を過ごすことができた。全員とコミュニケーションをとることができたのも良かった。

- 事前のガイダンスで事業の目的を明確にしてくださいとともに、明るくフレンドリーに対応してください良かった。
- 参加者に寄りそう活動と教育としての活動を兼ね備えたプログラムを立案し、参加者や他のスタッフを注視し、対応できる指導者を目指したいと感じた。
- 参加者が何を求めているかを理解し、スタッフにそれを伝え、目的をもって企画・運営ができる指導者を目指したい。

## (2) 成果と課題

### 《成 果》

- ・ 各科目、専門性の高い講師陣のもと、これまで受講生たちが身に付けてきた指導者としての知識や技能について、より深く、専門性の高いレベルで習得し、自然体験活動上級指導者として必要な資質を得ることができ、受講生の満足度も高かった。
- ・ 異年齢、異業種、多様な地域から参加した受講生が、①グループワークを通して、コミュニケーションを多くとりながら、講習・実習がすすんだこと、②余裕をもったスケジュールングによりうまれた休憩時間等を利用して、交流・情報交換が活発になったこと、以上の2点から、今後、指導者として活動する上での新しいネットワークを構築することができた。

### 《課 題》

- ・ 定員 15 名に対し 11 名の応募であった。ボランティア養成セミナーとのタイアップで実施するリーダー養成研修とは異なり、参加者集めに苦慮した。自然体験活動指導者資格 (NEAL 制度) の周知が必要であるとともに、適切な広報先の把握が求められる。
- ・ 各科目、専門性の高い講師陣を招き、充実した講習となったが、関東方面など、遠方から来ていただく講師が多かった。研修当日、台風の影響により講師の往来についての心配が続きまとうと共に、旅費に関して事業予算も膨れ上がってしまった。北陸 3 県など、近隣で適切な講師候補者のリストアップをすすめる必要がある。

